

トピックス1

火力発電所における環境負荷低減・経済性向上に向けた取り組み

当社は、火力発電全体の熱効率向上や発電所の効率的な運用をはかるとともに、燃料調達におけるさらなる経済性の追求を進めてまいります。

八戸火力発電所5号機 燃料転換による運転開始

昨年8月にコンバインドサイクルによる運転を開始した八戸火力発電所5号機では、今年7月1日、軽油からLNGへの燃料転換工事が完了し、LNGによる運転を開始いたしました。これにより、出力および発電効率を示す熱効率が上昇し、発電電力量あたりの二酸化炭素排出量も削減されます。

発電方式	コンバインドサイクル方式	
燃料	軽油	LNG
出力	39.4万kW	41.6万kW
熱効率(低位発熱量基準)	49%	57%



八戸火力発電所5号機の外観

新仙台火力発電所へのLNG船(第一船)の入港ならびに同3号系列の総合試運転

新仙台火力発電所では、経年化が進んだ1号機、2号機を廃止し、新たにLNGを燃料とする高効率コンバインドサイクル発電設備の3号系列(出力98万キロワット)を建設するリプレース工事を実施しております。今年7月16日、マレーシアより第一船目となるLNG船が入港し、LNG約6万トンを受け入れ以降、3号系列の総合試運転を進めております。



栈橋に着棧中のLNG船の様子

当社初となるシェールガス等を原料とする米国産LNGの購入

当社と仏ENGIE社は今年10月、米国キャメロンLNG液化施設で生産されたシェールガス等を原料とするLNGの長期売買契約を締結しました。当社は本契約に基づき、平成30年から約20年間にわたり、年間約27万トンのLNGを購入する予定です。本契約では、従来の価格体系とは異なる契約価格によりLNG調達価格の多様化をはかるとともに、需給調整を目的としたLNGの仕向地の変更や、市場動向を見極めた両社の協働による第三者への転売も可能としており、LNG取引におけるさらなる柔軟性の向上をはかっております。

トピックス2

原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み

当社は、原子力発電所の再稼働に向け、新規規制基準適合性審査への対応とともに、安全性向上の観点から重要であると判断した対策については自主的に取り入れていくという基本的な考え方にに基づき、安全対策に取り組んでおります。

女川原子力発電所、東通原子力発電所の安全対策の状況

女川原子力発電所および東通原子力発電所では、地震や津波に対する耐性強化や冷却機能に係る代替設備の設置など、設備の強化をはかるとともに、多様化および多重化という観点から、安全対策をさらに充実させていくこととしております。たとえば、女川原子力発電所において、想定津波高（海拔23.1メートル）に対して海拔約29メートルの防潮堤を設置する工事を行うなど、より厳しい条件を考慮した地震・津波対策を進めております。また、夜間や休日など、様々な状況を想定したより実践的な防災訓練を継続的に実施するなど、対応力の強化、充実に取り組んでおります。

また、原子力事業者として業務を運営していくうえで、地域のみなさまの声をお聞きすることが不可欠であるとの考えのもと、原子力リスクの存在を前提に、情報提供や対話活動などを引き続き丁寧に行ってまいります。こうした取り組みを着実に進め、地域のみなさまのご理解を得ながら、原子力発電所の再稼働を目指してまいります。



女川原子力発電所の防潮堤かさ上げ工事



電源確保訓練



消防車による注水訓練